

第2回庄内町立図書館協議会 会議録

- 1 開催日時：平成27年7月8日（水）19時～20時30分
- 2 開催場所：庄内町立図書館 二階自習室
- 3 出席委員：阿部真一、小野寺姫、遠田由美子、館林由美子、小野寺博、高梨道明、仲條一志
- 4 欠席委員：なし
- 5 事務局：社会教育課長、図書館長、主査、主任

進行：主任

1 開 会 主任

2 あいさつ

○図書館長

本日協議する庄内町教育振興計画（案）については、本計画は、町総合計画と併せて策定するものであるが、みなさんのご意見を取り入れたいのでよろしくお願いいたします。

○委員長あいさつ

前回5月の協議会に引き続きまもなくの会議だが、計画の内容について、みなさまのご意見をよろしくお願いいたします。

3 協議事項 座長：委員長

(1)庄内町教育振興計画（案）について

《事務局説明》

○(1)の資料の内容説明

《協議の内容》

(委員長) 図書館に関する箇所について、説明をいただいたが、皆様からご質問や意見をいただきたい。

(委員) 個人登録者数は、8,000人以上で、実際年間利用は、約2,000人位であるが、どういう状況なのか。

(事務局) 1年間に約2,000人の利用者で、登録の4分の1しか利用されていないことになる。また、図書館システムは、住民基本台帳システムとは連動していないため、一端登録すると利用者が亡くなられていても、利用カードは永久的にそのまま残ってしまシステムになっており、登録者数だけ増えていくことになる。

(委員) 亡くなられた方のカードをずっと管理しているのは、実在していないカードを保管していることになるので、どこかで削除したほうが良いと思う。

(事務局) 他の図書館の対応も調べてみる。

(委員) 図書館の貸出冊数などの目標値について、高めに設定している気がする。庄内町教育振興計画（案）の基本方針2に示している目標値を計画した場合、難しいだろう。目標値を達成したかななどの結果についての説明責任はあるだろうから大変である。やはり新しい図書館の建設が必

須である。広くて使いやすい図書館になるよう、新しい展望はあるのか。

(課長) 現在、図書館の整備については、いろいろの方法を模索しているところである。

(委員長) 以前より、自分自身も本を借りる必要がなくなったと感じている。本を読まない人は、図書館を利用する必要がなくなっており、そういう意味で、図書館は、どういう場所であるべきなのか。人が集まる、交流する、情報の発信など、図書館の機能は何なのか考えていかないといけない。

(委員) 人口の減少も想定され、貸出冊数の増につなげるのも無理があると思う。

(委員) 図書館利用統計の数値を出してくれたが、目標値をどうするかより、図書利用カード登録者数と1年間図書を利用する人の差がありすぎるので、どうしたら、図書利用カードを持っている人から、1冊でも借りてもらえるよう有効活用を考えるべきだ。

(館長) 県立図書館の職員が当館を訪問した際に県内の図書館でも利用状況の減少が課題で、交流施設の複合施設だと利用者数は増加しているとのこと。図書館のような静かにしないといけない場所はさけられがちで、親子連れが遊戯施設に集中するそうである。図書館でも、今の時代のニーズに応じたやり方を考慮に入れながら、配架の仕方やイベントの実施など、来館者を呼び込んでいく必要がある。

(委員) 県立図書館でも、いろいろのイベントを企画しているようだ。

(館長) 県立図書館もいろんな動きにつなげている。図書館は、ただ待っているだけでは利用者の増にはつながらないので、積極的にイベントなど取りくんでいかないといけない。

(委員長) 図書館の役割として、大きく変化しているので、貸出のみでなく、人が集まって交流する場所や、子育て支援など複合的な機能を持った、総合的な観点から図書館の建設整備につなげてほしい。この計画には、大事なものは盛り込まれ、まとめられていると思う。

(委員長) 委員の皆様みなさまいろいろなご意見いただきよかった。

(2) その他

特になし

4 その他

次回 第35回山形県図書館研究大会を中山町立図書館で開催。

5 閉会 主任